

10月号 こころんネット ニュースレター

まちづくり通信つながり



発行 こころんネット1・2の3
編集 飛騨高山まちづくり本舗
住所 〒506-0845
高山市上一之町44-4
電話&FAX 0577-33-5282
hampo@takayamashi.shouren.net

さまざまな子育て支援ができるのも、裏方のスタッフあってのおかげです

今では当たり前ようになった「託児あります」の文字。子育て真っ最中の親ごさんなどにとって、とてもありがたい頼りの味方が”託児サークル”です。10年前までは、泣く泣く参加をあきらめるか、「赤ちゃん、どうか抱っこしている間、静かにしていて」と祈りながらの参加でした。今回は、高山市内で託児サービスに協力していただいている主な市民活動団体を紹介します。

ニーズに合わせた託児サービスを提供 *きんたろうの会

保育サービス講習会をきっかけに受講生自らが集まり結成した会。会員は高校生から60代と幅広く50人が所属。集団託児、個人託児ともに対応し実施場所も依頼者の希望に応じる。一番の魅力は、早朝から深夜までの託児の受入体制があること。

【活動料】 午前8時～午後10時 800円/時間
午前8時以前、午後10時以降 1,000円/時間
【申込、詳しくは】かんかこかん気付 33-5055
または、090-1749-9065 まで

観光客も重宝しています *かんかこかん

かんかこかん開館中の託児サービス。買物客や観光客も利用。

小学生以上は1回500円で時間の設定が無いのは魅力。

【利用料】
午前10時～午後5時 1,000円/時間
小学生以上 500円/回
【申込、詳しくは】
かんかこかん 33-5055 まで



「中島デコ講演会」での託児風景▲

市内での託児サービスの草分け *ねむの会

子育て中の親が、自身の学習目的のための講座などに参加しやすいうように託児サービスがあったらとの要望に応える形で結成された会。以降、乳幼児家庭教育では両輪のような存在に。個人託児ではなく、集団託児を専門に行う。活動料は特になく、主催者と依頼時協議による。

【申込、詳しくは】 34-3736 安藤さんまで

利用者、援助者の関係を大切に

*コープぎふ くらしたすけあいの会

相互が対等な関係を大切にしたいことから一口1,000円以上/年の会員制となっています。

【活動料】平日午前9時～午後5時 750円/時間
上記以外 930円/時間

【申込、詳しくは】0120-398-665 山下さんまで

朝日地域周辺の強い味方

*ほのぼの朝日ネットワーク

自宅か、ほのぼの朝日の家での託児、イベント時でも対応。

【利用料】750円/時間
【申込、詳しくは】ほのぼの朝日の家 55-3488 まで

障がい児や高齢者との交流を大切に *りびんぐ

障がい児の託児サービスも積極的に実施。

【利用料】800円/時間、食事代200円
【申込、詳しくは】りびんぐ 32-7283 まで

泣いた、笑った、感動した 一度限りの演劇公演

劇団ドリームアンドホープ 「明日への扉」 に拍手喝采



平成19年10月21日(日)午後3時30分、市民文化会館大ホールの幕は上がった。1,300収容のホールは超満員。6月30日のオーディションで集まった団員とは思えない堂々たる演技。ここでの主役は飛騨に住む子どもたち。50人余の役者は、飛騨地域の劇団員、主催である高山青年会議所(JC)の大人たちと堂々と渡り合う。

演技に甘さや照れもなく、真剣にそしてはつらつと。脚本もしっかり練られていたため、適度の笑いとアクションに2時間全く飽きるところが皆が食い入るように観ていた。観衆も開演前から小さい子もいるのに騒々しくもなく、最後は演者と一体となつての手拍子、一緒に盛り上げる。テーマは「いじめ」、むずかしいテーマでありながら真正面から問題を取り上げた。JCの挑戦は120%の結果となった。拍手!!

一回限りの公演は、まちづくりへの夢と希望を灯した瞬間が感じられるステージでした。



絵本 杉山三四郎さんの絵本ライブ

スクリーンを使っての絵本の読み語り、ことば遊びにあそび歌など、三四郎さんと一緒に楽しみませんか。

◇11月17日(土) 午前10時30分～(10時開場)

◇会場：一之宮公民館(一之宮支所向かい)

◇入場無料：整理券が必要

市子育て支援センター、子育て支援課、各支所市民福祉課まで

◇問合せ：高山市子育て支援センター 33-7963

リフレッシュ 子育てコーディネータによる広場の催し【11月】

5日(月) 10~12時 絵本の読み聞かせ(木谷さん)

7日(水) 10~12時 おしゃべりタイム(北村さん)

17日(土) 1時半~3時 音楽にのせて運動不足解消(花川さん)

19日(月) 10~1時 おにぎりランチ(岩田さん)

26日(月) 10~12時 手づくりおもちゃ(滝沢さん)

※参加費：無料(申込不要、直接お越しください)

◇会場：かんかこかん2階 ◇問合せ：かんかこかん 33-5055

親子でとくする学び隊 1・2の3

1) 子どもの心と脳を育てる一心の原風景

11月10日(土)午後1時30分~午後3時30分

会場：総合福祉センター3階会議室

◇講師：和田周平さん(和田教育研究所)

その2) 子どもの心が読めますか

◇11月15日(木)午後7時~午後9時

◇会場：一之宮公民館(一之宮支所向かい)

◇講師：松尾千景さん(親業インストラクター)

その3) 心を育てる親子の「あそび」

◇11月24日(土)午前10時~12時

◇会場：総合福祉センター・ポップ公園

◇講師：桐山久子さん・常光亮子さん(社会福祉協議会)

◇問合せ、要申込：いずれも高山市社会福祉協議会

35-0294(第1回は託児あり、6日までに要申込)



食育 食育教室

『食べることの大切さ』の基本を学びます

講師：永瀬智明栄養士(市子育て支援課)

◇11月19日(月) 午前10時30分~◇参加費：無料

◇会場：子育て支援センター(問合せ 33-7963)

◇11月22日(木) 午前10時30分~

◇会場：奥飛騨総合文化センター◇参加費：無料

(問合せ 0578-86-2111 上宝支所市民福祉課)

報告 こどもはたくさん転んでおいたほうがいいのです

『生まれてきてくれて ありがとう』

中島デコ講演会(高山市主催)から

10月6日(土)午後7時から高山市役所市民ホールで開催された講演会に110名の市民が聴講されました。自然と大地をモチーフにした会場の装飾には、マクロビオティック料理研究家であるデコさんの雰囲気が醸し出されていました。

講演では、デコさん自身が病院での出産、自宅出産、海外での出産、水中出産などさまざまな形で体験した5人のお産を通して感じた生命の神秘と感動。そして、子育てを通して実感した自身の真の健康と自然に生きることの大切さを、飾ることなく自然体で話されました。

「出産時できるだけ幸せな気持ちでいること、食事に気をつけていること、だから自分に自信があった」、「出産してすぐに仕事を始めるよりも、まず静養して自身の体をいたわる」、「転びかたを知らないから転べない。こどもはたくさん転んでおいた方がいい」、「自分のベース(基本)がしっかりしていれば大丈夫、そうすれば何でも受け入れられる」、「日々質素にしているからたまのごちそうがありがたく思える」。

ひとつひとつのことばにうなづいてばかりの90分間でした。



まちのボイス

きつと 誰かの役に立つと思うよ あなたの痛み

高山市内在住の女子中学生が書いた詩をご紹介します。

この詩はまちづくり本舗のスタッフの知り合いから、「たまたま、学校に行くことができず悩んでいる中学生の女の子が、まちづくり通信を目にする機会があり、悩んでいる思いを多くの人に知ってもらえたら・・・と、詩を書いてくれました」と、寄せられたものです。遠くにいても近くにいても、誰かが誰かの応援団であるように、ひとりの痛みを、地域社会全体の痛みとして受け止められる、柔軟性をもったあったかなまちに、できたらいいね、このまちを!!

不登校

不登校・・・

それは・・・

いけないことだと思う。

でも、

不登校になって

いろんなことを学ぶ。

人の気持ちを考えられること。

周りの人たちのおかげで私は生きているということ。

たしかに、

不登校ということは

ダメなことだと思うけど、

たくさん成長する。

自分とあらためて向き合える。

いつか・・・

不登校だったことを、

後悔ではなく、

良かったと思える日が

きつと・・・くる。

不登校になった人だけが

わかる、

苦しみ・・・

悲しみ・・・

それぞれが、

きつと・・・

人の役に立つようになる。

私はそんなふうに思います・・・